

～コミュニティ・スクールだより No.3～

氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局
各学校で会議を重ねコミュニティ・スクール活動に取り組んでいます。

わくわくスポーツフェスティバル応援看板づくり（竜北東小学校）



5月26日の「わくわくスポーツフェスティバル」に向け今年度も、応援看板を作成しました。「地域のみんなが応援しています」のメッセージは、習字の得意な委員が担当し、他のメンバーが飾り付けなど協力し作り上げました。

当日は、子どもたちの頑張る姿にCS委員も力がいはいり、熱心な声援にこたえるよう、子どもたちも一人ひとりが活躍する「わくわくスポーツフェスティバル」になりました。

ランチミーティング（竜北西部小学校 6月3日～10日）



昨年度から子どもたちの意見もしっかり取り入れようとそれぞれの委員会の子どもたちが、CS委員と一緒に給食を食べながら意見交換するランチミーティングを開催しています。

人権の花の種植えを地域の人たちとした環境美化委員会では、「たくさん芽が出てポットに苗を移し替えたら、保育園や近くの施設にもプレゼントにして持っていきたい。」とCS委員に提案。運営委員会では、「子ども見守り110番の家」の旗の設置場所増設のお願いなど、子どもたち目線での意見にCS委員も今後の活動に意欲を沸かせました。

「ようこそ先輩」（竜北中学校 6月14日）



今年度もあいさつ運動後の「ようこそ先輩」が始まりました。CS委員またはCS委員推薦の地域の大人から中学生に向けてメッセージを送ってもらいます。委員である八代農業高校の校長先生は、経験談をもとに、自分の人生での選択や夢を叶えるための努力、氷川の農家の方々とのご縁等も話されました。西村教育長の話聞いた3年生は、話をしっかり受け止め、今後の進路に向けて活かし、今後頑張っていきたいと抱負を述べてくれました。素敵な先輩がたの話に子どもたちの未来への夢も膨らんでいます。